

平成 25 年度 施策・基本事業評価表(平成 24 年度振り返り)

作成日 平成 25 年 8 月 30 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	33	施策名	文化の振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	南塚 智樹
関係課名	図書館、埋没林博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な芸術文化にふれる機会が多く、市民が活気と潤いに満ちています。</li> <li>・伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統や文化に愛着と誇りを持っています。</li> </ul>
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に芸術文化活動に参加します。</li> <li>・市の歴史や伝統文化、文化財に関心を持ち将来に伝えていきます。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化振興のため、発表会や優れた芸術活動の奨励に取り組みます。</li> <li>・伝統文化、文化財の保護・継承に努めます。</li> </ul>
	その他	

区 分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
施策の トータル コスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	13 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	4 (4)			
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	9 (9)			
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	124,108	0	0	0
	うち基本事業①を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	96,204			
	うち基本事業②を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—	27,904			
	うち基本事業③を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	うち基本事業④を構成する事務事業の事業費小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	31			
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	6,070				
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費4,399円)	千円	—	—	26,702				
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	150,810	0	0	0	
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	2,801			
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	603			
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	3,403			
	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—				
参考	魚津市の人口	人	—	—	44,315			

施策No.	33	施策名	文化の振興								
施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み	基本事業名①		事業内容(活動内容)								
	芸術文化活動の推進		恵まれた文化施設を活用し、市民による創作や成果発表などの活動を支援するとともに、美術や音楽などの優れた芸術文化活動に触れる機会を増やします。								
	①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	芸術文化振興事業		市民に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術の普及と振興を図ります。								
	音楽のまちづくり推進事業		各種音楽事業を実施し市民が気軽に音楽に親しめる環境を作ります。								
	新川文化ホール運営事業		県文化振興財団を指定管理者として、ホール、展示事業を実施し鑑賞の機会を提供します。								
	新川文化ホール鑑賞事業		児童・生徒に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供します。								
	基本事業①の目的【意図】		芸術文化活動に数多く触れ、市民の誰もが心の潤いと心の豊かさを実感できます。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	芸術文化活動に触れる機会が多くあると思う市民の割合		%	24.2	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27.0	32.0
	新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主企画事業の参加者数		人	46,138	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	63,000	68,000
					58,000	59,000	60,000	61,000	62,000		
					57,441	47,761	57,845				
	基本事業名②		事業内容(活動内容)								
	地域の歴史や文化の保存・伝承		魚津の歴史や文化の紹介とともに、洞杉や米騒動などの地域遺産を顕彰し、保護・継承に努めます。								
	②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
	文化財保護団体育成事業		指定無形文化財保護団体の実施する活動を支援します。								
	文化財保護・管理事業		国指定の特別天然記念物である埋没林をはじめ市内の文化財を保護管理し、文化財保護審議委員会を開催し文化財の指定・調査を行います。								
	基本事業②の目的【意図】		郷土の文化財・伝統文化の保存活用に努めるとともに、市民の郷土を愛する意識を高めます。								
	成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
	郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合		%	39.0	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	43.0	48.0
	たてもんボランティアの参加人数		人	153	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	350	400
					300	310	320	330	340		
					200	118	245				
基本事業名③		事業内容(活動内容)									
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業③の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
基本事業名④		事業内容(活動内容)									
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)									
基本事業④の目的【意図】											
成果指標名		単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)					27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)	
				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			

施策No.	33	施策名	文化の振興
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)		
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は、「ガンダムワールド2012 in 魚津」の入場者が16,000人と非常に多かったことや市制60周年記念事業の催行などにより、前年度に比べて大きく増加しました。</li> <li>・市民アンケートでは、芸術文化活動に触れる機会が多くあると感じる市民の割合はほぼ横ばいですが、郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合は増加しています。</li> <li>・たてもんボランティア参加者数は、22年度及び初日が雨天中止となった23年度を大きく上回りました。</li> </ul>		
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)		
	①新川文化ホールと天神山交流館の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市に比較しても充実しています。		
24年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)		
	①文化芸術について、5万弱の人口規模の魚津市において全国規模の企画を実施することは難しく、また、市民の希望する分野も多岐にわたるため、全ての分野において市民の期待水準に応えることは難しいと思われます。		
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組内容を中心に記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中学校の時から芸術文化に親しんでもらうため、新川文化ホールでの芸術鑑賞や伝統芸能、音楽鑑賞を実施しています。</li> <li>②音楽の街づくり事業による小中学校、公共施設への出前演奏を行いました。</li> <li>③新川文化ホールの展示ホールやミラージュギャラリーで市美協会員展を開催するとともに、関係団体との協力により多くの市制60周年記念事業を実施しました。</li> <li>④歴史民俗博物館の展示への市内小学6年生の鑑賞・解説事業を行うとともに、歴史副読本③米騒動を刊行し、小中学校への配布と一般への販売を行いました。</li> <li>⑤たてもんボランティア募集により、郷土の伝統を守る意識の向上を図りました。</li> <li>⑥全国山城サミット連絡協議会魚津大会を開催し、山城の保全、整備活用に関するシンポジウムを開きました。</li> <li>⑦文化施設を利用しやすい施設とするため、学びの森交流館の非常放送設備、宿泊棟屋外階段の修繕を行いました。</li> </ul>		
	3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①新川文化ホールや学びの森交流館で開催するコンサートや企画展については、幅広い市民の要望を取り入れた内容となるよう指定管理者と協議していきます。</li> <li>②県内各文化施設と連携し少ない事業費でコンサート等が開催できるよう工夫していきます。</li> <li>③平成25年5月に市文化財に指定した洞杉の保護顕彰に努めます。</li> <li>④松倉城郭群の実態を把握するため、遺跡の調査を行います。</li> <li>⑤埋没林埋蔵分布調査事業に取り組みます。</li> </ul>			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	施策の重要度	一般
	<p>新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館で実施している小中学生や一般を対象とした芸術文化鑑賞事業や、各種団体で行われている芸術文化活動は近隣と比較して高い水準にあると考えられることから、今後も水準の維持に努めていきます。文化財の保存・継承については、文化財保護団体の実施する活動を引き続き支援していくとともに、文化財の保護顕彰に努め、文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう取り組んでいく必要があります。</p>	

行政経営 戦略会議 評価 (施策の課題 及び方針)	施策の重要度	一般
	<p>◆文化財が地域の資源として利活用が図られ、地域の振興につながるよう、文化財保護や伝統芸能の継承に対する活動を引き続き支援します。</p>	